

# 令和6年度指定管理者運営状況検証シート

## 1 施設名等

施設名 (設置年月日)	愛媛県生活文化センター (昭和51年2月1日)	所在地 電 H	愛媛県松山市北持田町139番地2 089-933-1369 <a href="http://www.e-bunka.org/">http://www.e-bunka.org/</a>
県所管課	観光スポーツ文化部文化局文化振興課	指定管理者の名称	株式会社ワイン
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)	利用料金制	○あり　なし

## 2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民の生活文化の向上を目的とする各種行事又は集会の用に供する	施設の外観
施設内容	大広間(152畳)、第1研修室(100人)、第2研修室(80人)、第3研修室(20人)、調理研修室(30人)、和室(8室)、茶室「和松庵」(8畳・4畳半)、中会議室(16人)、小会議室(12人)、駐車場50台	
指定管理者が行う業務	①センターの事業の実施に関する業務 ②センターの利用の許可に関する業務 ③センターの利用に係る料金の收受に関する業務 ④センターの利用の促進に関する業務 ⑤センターの施設、附属設備及び備品の維持管理に関する業務 ⑥その他知事が定める業務	
施設の管理体制	株式会社ワイン	館長(正規) 係員(3名) 清掃業務担当(2名)

## 3 検証のための指標の推移

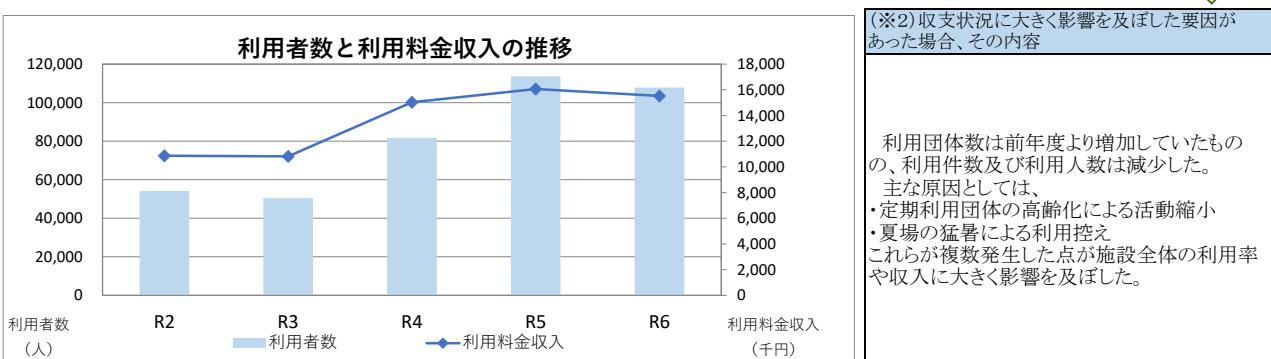
### (1) 利用者数

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間利用者数	54,206人	50,487人	81,861人	113,678人	107,904人

### (2) 収支状況

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入(A)	34,873千円	35,381千円	38,671千円	38,101千円	45,349千円
委託料	13,477千円	13,477千円	13,477千円	19,161千円	20,864千円
委託料(補正額)※	6,862千円	6,746千円	5,501千円	616千円	6,147千円
利用料金収入	10,864千円	10,820千円	15,037千円	16,064千円	15,530千円
その他収入	3,670千円	4,338千円	4,656千円	2,260千円	2,808千円
支出(B)	34,873千円	35,381千円	38,671千円	38,101千円	45,349千円
事業費	1,588千円	1,852千円	1,819千円	2,173千円	2,534千円
維持管理費	5,476千円	4,234千円	5,409千円	4,840千円	12,146千円
人件費	18,529千円	18,962千円	18,789千円	18,239千円	18,030千円
その他支出	9,280千円	10,333千円	12,654千円	12,849千円	12,639千円
収支(A) - 支出(B)	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

(※)新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



## 4 管理運営の評価

### (1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○感染症対策として、玄関及び各階エレベーター入口に消毒用アルコールの配置、また各部屋使用後に従業員による消毒作業を継続して行っている。</p> <p>○以前より多数ご意見いただいている駐車場の混雑について、週末のみでなく平日も混み合うことが増えてきている。そのため利用人数が多い団体には事前に乗り合わせ・公共交通機関の利用を依頼したうえで駐車場案内係を配置しスムーズに出入りできるよう配慮している。</p> <p>○所定の開所時間外の利用(9:00以前)につき、準備等で利用者からの要望があった場合は対応している。(他の類似施設については、所定時間外の利用を許可しないところがほとんどである)</p> <p>○從来月曜日が祝祭日であった場合の翌火曜日を休館日としていたが、平成19年度よりこれを廃し、休館日は平日の月曜日のみとしている。</p> <p>○利用頻度の低かった施設(旧・談話室)、遊休施設(旧・応接室)を新たに貸館(小会議室・中会議室)として活用し、小規模な会合に利用できる施設として提供。</p> <p>○熱中症警戒アラートが発令された際のクーリングシェルターとして松山市から指定を受け、施設利用者以外にも1階ロビーを開放した。</p>	<p>駐車場については、近隣に民家が多く、混雑時の対応には配慮をするが、案内係の設置や利用者への周知対応により、周辺住民・施設利用者双方に配慮した丁寧な対処を行っている。</p> <p>開所時間外の利用許可対応に加え、要望により休館日にも利用を許可するなど、柔軟な対応を行っており、評価できる。</p> <p>定期利用団体の高齢化による活動縮小などで、利用料収入・利用人数が昨年度よりやや減少したが、新規利用者開拓のために、利用増加傾向がある洋室の設備環境を早急に整えたり、企業の会議利用増加を狙ってダイレクトメールを送ったりするなど、サービス改善にスピード感をもって取り組んでいるほか、松山市からのクーリングシェルター指定の打診も積極的に受け止め利用促進につなげようとするなど、地域に根差した施設として、柔軟に運営を行っている。</p>	S

### (2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>建物の経年劣化により、下記内容にて修繕を行った。</p> <p>○機械室 冷却塔Vベルト更新 ○和室教室・茶室 置表替え ○中会議室・3階フロアクロス貼替 ○2階トイレ詰まり修繕 ○3階 漏水修繕 ○中会議室絶縁改修工事 ○地下PCB廃棄処分・コンデンサ変圧器取替工事 ○誘導灯・自動火災報知設備更新 ○調理室作業台漏水修繕 ○自動ドアセンサー更新工事</p>	<p>開所後48年を経過しており、老朽化による不具合が各所に生じている状況であるが、限られた予算の中で、指定管理者として緊急度の高いものから計画的に修繕を行っており、評価できる。</p>	A

### (3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○職員の対応については好評を得ている。定期利用団体にも快くご利用いただけるよう和室部屋の配置等に気を付けている。</p> <p>○空調設備について、個別での温度管理ができないためご意見をいただくことがあるが、別部屋の利用団体にも声掛けをし配慮しながら調整を行っている。</p> <p>○和室において、隣接する部屋で音の大きい団体が利用している場合、事前に周りの利用団体に説明した承を得ているが、利用中に苦情が出たりした場合、早急に部屋移動が可能であれば音の出る団体に動いてもらうなどし、次回からは個室利用を薦めたりしている。</p> <p>○現状の課題等をもとに新たに施設利用に関するアンケートを作成し、利用申込受付けの際などにアンケート用紙を配布し、利用者の声を反映できるよう努めている。</p>	<p>古い施設であるため空調や音漏れなど利用にあたつて配慮を要する点があるが、利用者の要望に応じて適切に対処しており、満足度向上のためのきめ細かな対応を行っていることは評価できる。</p>	A

### (4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○ホームページに施設情報や利用団体詳細、また直近3か月分の各部屋予約状況を掲載しており、ホームページからの予約受付も可能。その他茶会や文化イベントの報告等も配信している。</p> <p>○チラシ配布や掲示板等により、多くの方に周知していただけるよう取り組んでおり、自主企画講座においても参加者が増加傾向にある。館内に講座の作品を展示し、他の利用者の興味関心を引いている。</p> <p>○上記も継続しながら、新たに開設したSNSも活用しながら今後は外部への発信も積極的に行っていけるよう努めたい。</p>	<p>利用予約の方法について、予約状況が確認できるなど利用者の利便性に配慮されており評価できる。</p> <p>館内でのチラシ掲示や声掛けなどにより利用者、利用団体の確保ができているが、「定期的に開催されている教室やサークルについて、内容や参加者層が具体的に分からず、新しい人が利用しにくい」「施設をどのような活動で利用していいのか分からない」といった課題を踏まえ、ホームページやSNSでの発信内容の工夫を積極的に検討しており、引き続き発信に力を入れてほしい。</p>	A

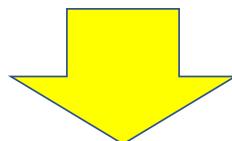
#### 【評価基準】

S…仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの

A…仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの

B…仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの

C…仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



### (5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
<p>地域に根差した生活文化施設である当施設の特徴に沿って、利用者のニーズに柔軟に対応し高い利用率を維持していること、要望に応じた備品調達や設備修繕等にスピード感をもって対応していることは、民間事業者が管理運営を行う指定管理制度導入の効果といえる。</p> <p>定期利用団体の高齢化等により、利用者数が若干減少したが、企業等の研修や大学のサークルなど、新しい層の利用傾向も見えてきており、PR強化にも取り組んでいるため、引き続き利用者数の確保と満足度向上に取り組んでほしい。</p>